

新たな出会いを前に

講師

上野 誠治



釧路での4年間は啄木の76日間に比べると遙かに長いのですが、新設大学の草創期にあっては文字通りあっという間のことでした。振り返ると釧路でなければ経験できなかったことが沢山あったように思えます。この地での出来事、学生・教職員・街の人達との出会いなど全てがこれからの生活にとって肥やしとなるでしょう。それは貴重な財産です。そして、同時に学生諸君にとってもそれが（どのような意味であるにしろ）貴重な出会いであったならこの上ない喜びなのですが、如何。

さて、出会いと言えば、本学は昨年サイモン・フレイザー大学、キャピラノ・カレッジと学術交流の提携を結びましたが、それに先だって、第1回海外研修旅行を実施し学生16名が参加しました。私も引率で同行し、2大学の関係者と会い多少なりとも友好を深めることができました。この旅行の中での出会いも大変貴重なものでした。こういった人との出会いを通じて、本学の「国際化」が進んでいくことと思います。そのためには学生諸君自身の国際化も必要です——そしてその前に真の国際化とは何かということをひとりひとりが充分に考える必要があるでしょう。

最後に、To be conscious that you are ignorant is a great step to knowledge. 「無知の自覚こそが知に至る大きな一歩」(Benjamin Disraeli) 学ぶ気持ちだけはいつまでも持ち続けたいものです。札幌には土産話持参で訪ねてください。大歓迎します。